

Viva 連絡会

2016年10月号 Vol.2

発行：長野県宅老所
グループホーム連絡会

〒386-0016
上田市常田3-4-14 第二陽光ハイソ
Tel 0268(75)7383
Fax 0268(29)1021
nagano-taku-gh@bz03.plala.or.jp
http://www.nagano-taku-gh.jp

巻頭言

長野県宅老所グループホーム連絡会
副理事長 大石ひとみ

秋風が心地よい季節となりました。会員の皆様におかれましては日々奮闘されていくこととお察しいたします。

先日行われた全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会プレ大会におきましても多数ご参加いただきありがとうございました。

長野県独自の取り組みとでも言いますか小規模の位置づけは、宅老所（宅幼老所）グループホーム、小規模多機能型居宅介護等々となっております。それぞれの分野での取り組み、長野県の情勢報告は、宅老所の位置づけ、県としての考えを介護支援課よりお話していただきました。その後、いろんな意味での「共生」というテーマでセッションが行われました。

また、川原代表からは新型サービスの枠組みなどお話がありました。多様化していくサービスメニューと総合事業・・・利用者さん、また地域ニーズにどうマッチさせていくのか更に悩ましい局面を迎えようとしています。

しかし、私たちは前を向いて、時に雨に打たれぬかるみに足をとられながらも進んでいくことを求められています。そう・・・そこには、私たちを必要としてくれる利用者さんたちがいるのですから。

前を向いて歩みは少しずつかもしれませんが胸張って進みましょう！

連絡会 News

◆ 小規模多機能全国大会 プレ大会

8月27日（土）に長野市において小規模多機能全国大会のプレ大会が行われました

◆ 緊急開催 「地域共生社会をひもとく」

10月9日（日）に長野市において高齢者、障がい者、子どもそれぞれの垣根を超えた支援のあり方を考えます。

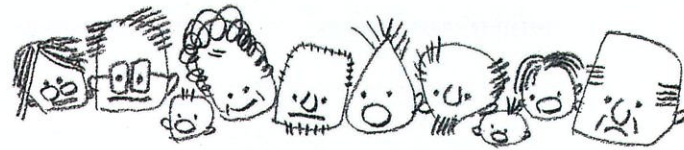
◆ 小規模多機能全国大会 in 軽井沢

11月26-27日（土、日）に軽井沢において小規模多機能全国大会が行われます
応募要項など紹介します

平成30年の改正にむけて それぞれの小規模ケアについて考えませんか？



去る、8月27日 長野市「芸術会館」にて小規模多機能型居宅介護 全国大会のプレ大会が行われました。120名あまりの参加者があり、小規模ケアのあり方を話し合われました。パネルディスカッションで「宅老所」を代表して登壇された、あったかいごの倉田さんに寄稿していただきましたので、ご紹介いたします。



プレ大会に参加して

宅老所あったかいご
倉田雅恵

小規模多機能全国大会のプレ大会が行われ、パネルディスカッションにおいて、宅老所の事例発表をさせていただきながら、参加してきました。

今回、パネルディスカッションでは、「宅老所」「共生型」「グループホーム」「小規模多機能」の4つに事例が報告されました。皆さんのお話をお聞きして、事業所としてのタイプは違うし、やっている内容も違うけれど、「1人ひとり」の人を大切にしているという点では一緒であることがよくわかりました。それこそが、「小規模」の良さだということを改めて感じました。「共生型」だから、障がい者や子供がいるわけではない。ニーズがあって、それに答えていたら、共生型になった。小規模多機能だから、通いや訪問、泊まりだけをしていればいい訳ではない。お年寄りの居場所や役割を地域で作ろうと考えたら、カフェの取り組みにつながった。グループホームやそこに住むお年寄りを地域住民と認めてもらおうとして、

飲み会に参加したり、畑づくりをするうちに、地域の方との連携事業につながったりしていました(皆さん、すごい!!)。

県の方や全国の川原代表のお話をお聞きすると、これから、ますますの人材不足、財源不足の中で、私たち事業所にとって、また一段と厳しい状況になると共に、サービス提供のあり方も変わってくるようでした。それが、共生型であったり、多機能型の福祉拠点だったりするわけですが、今一步、具体的なイメージができなくて、「このままではダメなのだろうか・・・」と悩んでいました。しかし、全国の連絡会事務局長の山越さんが「形にこだわることはない」とおっしゃったことが心に残りました。今まで通り、『1人』の人を大切にすることを続ければいいのだと。私たちは、お年寄りのことを支援していますが、お年寄りを本当に支えるためには、その人自身のことだけでなく、家族のことや、その周りの人のことも支援しなければならないことがあります。それをやっていけば、自然に「多機能化」したり「共生型」のようになっていたり、地域にねざしていくのかもしれない。小さいからこそ、1人ひとりのニーズや地域の実情に合わせて、臨機応変にできるのが、私たちの強みです。これからもそれをしっかりと、続けていくことが大切なのではないかと感じさせられた一日でした。

オープニング



- ①基調講演
「30年改正に向けて地域での小規模ケアのあり方」
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 代表 川原秀夫 氏
- ②来賓挨拶
長野県健康福祉部介護支援課 課長 井上雅彦 氏
- ③県情勢報告
「長野県における宅老所(小規模ケア施設)の現状とこれから」
長野県健康福祉部介護支援課 課長補佐 新井宣男 氏
- ④主催者挨拶
長野県宅老所 GH 連絡会 宮島理事長

パネルディスカッション



- ①コーディネーター 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 事務局長 山越孝浩 氏
- ②共生型 宅老所かいご家 代表 松本徳弥 氏
- ③グループホーム グループホームひだまりの里とよしな 代表 伊東進 氏
- ④小規模多機能 宅老所和が家 代表 今井祐輔 氏

2016年11月26日(土)~27日(日) **参加受付中!**

全国大会 in 軽井沢

会場: 軽井沢プリンスホテル ウェスト **第1次申込締切: 10/28(金)**

2016年11/27(日) **全国大会 in 軽井沢**で **実践発表を募集しています!!**

応募締切: 10/28(金) まで

そして本番の『全国大会 in 軽井沢』
詳しくは『全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会』のホームページで!

Syokibo.net

www.shoukibo.net で検索!!

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会「全国大会」in軽井沢
テーマ:「実践が制度を作り、育てる、小規模多機能型居宅介護」

小規模多機能型居宅介護が地域密着型サービスとして位置づいて10年以上が経過し、全国で5,000か所を超える事業所が開業されました。小規模多機能型居宅介護を取り巻く環境も30年改正に向けた議論が活発化しており、住み慣れた地域で24時間365日を支える地域包括ケアにおける小規模多機能型居宅介護に対する期待もますます高まっております。

このたびの全国大会では、小規模多機能型居宅介護の可能性について学びます。皆さま、一緒に考えませんか。

注目!!! 全体会での実践発表について

今年の全国大会では、分科会(27日(日)9:30~12:00)で「この発表はみんなに聞いてもらいたい!」と思う発表に「投票」していただき、賛同者数多かった実践発表4つを、午後からの全体会会場で発表していただきます(27日(日)13:00~14:10)。

投票方法は、当日ご案内いたします。賛同者の多い発表は2回発表いただくことになります。頑張ってください!!

■日 時 2016年11月26日(土)~27日(日)

■会 場 軽井沢プリンスホテル ウェスト
(〒389-0193長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 TEL0267-42-1111)

法人名 特定非営利活動法人わくわく

事業所名 わくさん家 (地域密着型通所介護)

〒382-0028 長野県須坂市臥龍 6-15-8

tel.026-245-2546 fax. 026-245-2535 Email. wakusann-3@stvnnet.home.ne.jp



この家が宅幼老所として始まってから13年。派手な動きはないが、地域にもなじみになり何とか定着している。

開設者の和久井が最近大病をして管理者を交代してから、和久井はボランティアとして介護に関わりながら、敷地内にあるログハウスをあちこち改造し『認知症カフェ』の開設準備をしている。「認知症の人と家族の会」の例会にも顔を出しながらカフェの必要性を痛感したよう。

秋には開設か。乞うご期待！

わくさん家 和久井 進

今後のスケジュール

10月 9日 (日)	「地域共生社会をひもとく」研修
12、13日	小規模多機能・計画作成者研修
14日 (水)	認知症ケア研修 初級 東信会場
29日 (土)	南信のつどい
11月16日 (水)	認知症ケア研修 初級 北信会場
26、27日	小規模多機能型 全国大会 in 軽井沢
12月 7日 (水)	認知症ケア研修中級「ひもとき」中信会場

緊急開催 長野県宅老所・グループホーム連絡会主催

「地域共生社会をひもとく」

高齢者、障がい者、子ども...もうバラバラに支援している場合じゃない!!
これからは、「我が事・まるごと」らしい!!

日時 平成 **28年10月9日** (日) PM1:00 ~ PM4:30

会場 **長野市生涯学習センター「TOIGO」** 長野県長野市購買部所町1200
TEL. 026-252-7151

参加費 1,000円

定員80名

研修内容

各制度が成熟する中、ニーズの多様化、困難ケースの浮き彫り、そして人口減少、家族・地域社会の衰容と行き詰まる問題ばかりです。国は何を考えているのか、私達は何を考えなければいけないのか！地域共生社会は問題解決のキーワードになるのか！
高齢者介護、障がい者福祉 それぞれの分野の垣根を超えて一緒に考えてみませんか！

講師予定者

内閣官房審議官 内閣官房一億総活躍推進室 課長 大島一博 氏
前 内閣府まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官 山崎史郎 氏

参加ご希望の方は、別紙申し込みにご記入の上連絡会事務局まで
お申し込みください

申し込み〆切り 10/5

お問い合わせ先 NPO法人 長野県宅老所グループホーム連絡会 事務局
上田市常田3-4-14 第2陽光ハイイツ
TEL. 0266(75)7363 FAX. 0268(28)1021 E-mail:nagano-taku-gh@tc03.pala.or.jp